

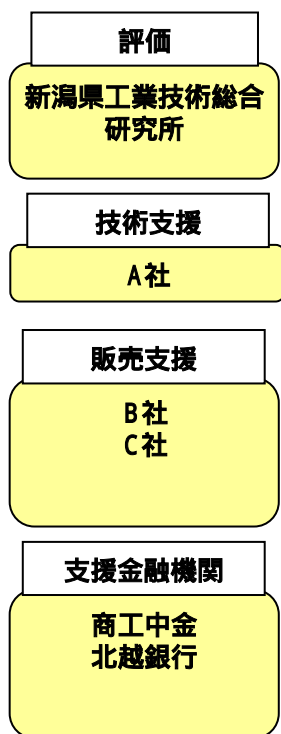
地域	新潟県長岡市	認定日	平成19年2月21日	3 - 18 - 059
事業分類	製造(電子部品)	テーマ分類	次世代(光)	

事業名: 広帯域対応ノイズ除去コイルの事業化

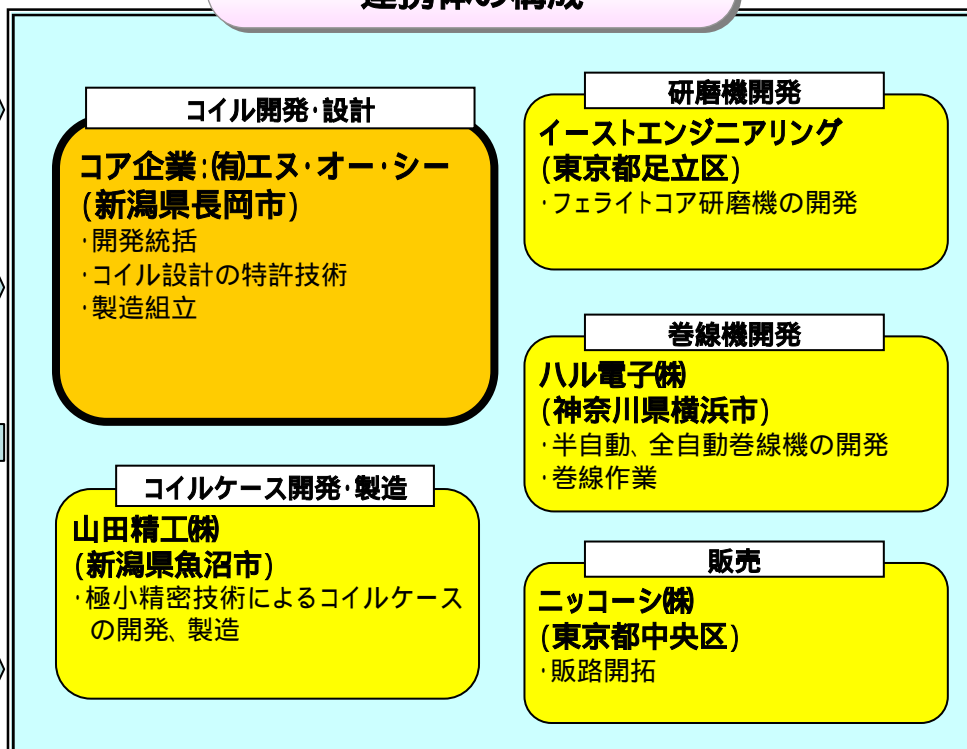
事業概要(新規性、市場性等)

- 光通信のインフラが整備されてきており、またUWBが解禁されるなど通信需要は増加の一途を辿っているが、現システムで対応出来る通信量は限界に近づきつつある。このため大容量データに対応可能な高周波の通信システムが望まれているが、高周波を用いると信号にノイズが発生しやすく、また複数のコイルを用いなければならないという課題があった。
- 本事業では円すい型曲率R形状のコイルにより数MHz～50GHz以上の広い周波数帯域を単体でカバーするコイルを開発、さらに自動実装への対応も実現する。
- 次世代光通信、UWBの市場は飛躍的に増大すると見込まれており、この分野の通信システム向けに事業化を目指す。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

補助金
低利融資(商工中金)



広帯域型巻線型コイル

連携のきっかけ、特徴

- ・既存の一般的なコイルでは広い帯域のノイズを安定的に除去することが出来ず、また周波数帯によって除去できるノイズの量に限界があり複数のコイルを用いなければならないため基板スペースや部品点数、製造コストの削減が困難であった。
- ・本事業ではノイズ除去コイルの特許技術を有するコア企業と、コイルコアの素材であるフェライトの全自動研磨機を開発する企業、極小R形状のコイルコアに巻線する技術を持つ企業、精密なプラスチック射出成型によりコイルケースを製造する企業、電子部品の販路を幅広く持つ企業との連携し、円すい型曲率R形状のコイルを開発することにより、これまで複数のコイルを組み合わせで対応していた周波数帯域を単体でカバーすることが可能となった。
- ・また、このコイルは円すい形状の部分が広い周波数帯域のノイズに対応するほか、一部を円柱形状とし巻数を増やすことで、任意の周波数帯域のノイズ除去性能を高めることが出来る。
- ・現段階で大手電機メーカーにサンプル出荷しており、事業化が見込まれる。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	有限会社エヌ・オー・シー 代表取締役 小川 茂	
所在地	新潟県長岡市笹崎3 - 3 - 15	
創業	平成2年12月	
資本金・従業員数	3,000千円	22名
業種	製造業	
T E L	0258 - 36 - 3036	
F A X	0258 - 36 - 3006	
ホームページ	http://www.earth.jstar.ne.jp/noc/	
e - m a i l	noc@earth.jstar.ne.jp	

PR等その他の情報